

回廊の柱

使徒たち、教会の柱、はモワサクで回廊の柱となっています。彼らの頭上の碑文により識別できます。教会へ続く扉口の近く、南東の角には、クリュニー修道院の守護聖人であるペトロとパウロの像があります。

東廊下の中央には、モワサクの修道院長でトゥールーズの司教、デュラン・ド・ブレドンの肖像彫刻が、修道院共同体の重要な決定が行われる参事会室の扉の前に立っています。

柱頭 5 番 ライオンの巣窟の中のダニエルと羊飼いへの告知

この柱頭は2つの聖書の場面を示しています。1つは旧約聖書から、もう1つは新約聖書からです。北の面はダニエル書のエピソードの1つを指しています(6、1-29)。預言者ダニエルは、ダリウス王の禁止にもかかわらず神に祈るので、ライオンの巣窟に投げ込まれますが、無傷で出てきます。

他の面はルカによる福音書のエピソード(2、8-12)に用いています：羊飼いへの告知。南の面では、天使がキリストのしるしである十字架が刻印された円盤状の物を持っています。中央の方円柱頭の下で、羊飼いが彼の犬が巻き付けられている棒を握っています。その右側には、口バ[ASI(NUS)]、牛[BOVES]および豚がいます。

この2つのシーンの出会いには意味があります。ダニエルは、キリストの到来を正確に宣言した最後の預言者と考えられており、羊飼いは受肉したという事実の最初の証人です。新約聖書は、このようにして旧約の真の意味を明らかにしているのでしょうか。

柱頭 23 番 バビロン市

エルサレムを描いた柱頭の近く(29番)にはバビロン市があります。要塞の門の上には[BABILINIA MAGNA]と刻まれています。エルサレムに関しては、都市は要塞化された都市によって表現されており、その城壁は、高い塔によって区切られており、柱頭のバスケット全体を覆っています。歩道には人物が置かれ、空か地面を指し示し、あるいは物を持っています。一つはすべての罪で満たされ、もう一つは聖なるもので満たされる二つの都市のこの対比は、多くの"Beatus"(黙示録の解説写本)の彩色挿絵で知られているテーマです。

柱頭 23 番 葉飾りと獣の鼻面装飾

この柱頭のバスケットの大部分は、反転したハート型のメダイオンに刻まれたパルメットの模様で飾られています。渦巻きの終わりには、口を開いた動物の頭が茎を吐き出しパルメットを形作り、中央には他の動物が三角の舌をぶら下げています。頂板では、鳥、ライオン、グリフォンが向かい合っています。

www.abbayemoissac.com

05 63 04 01 85

patrimoine@moissac.fr



Moissac patrimoine



ABBAYE MOISSAC



モワサクのサンピエール修道院



JAPONAIS

千年の歴史

修道院の修道僧たちによって作り上げられたその伝説は6世紀に国王クロヴィスにより基礎がつけられたと述べられています。しかし、歴史のおよび考古学的研究は、8世紀末のカロリング朝時代からの存在を証明することしかできません。

11世紀半ばには、モワサクと有名なブルゴーニュのクリュニー修道院との提携が、修道院の行く末の転機となりました。1047年に、クリュニーはデュラン・ド・ブルドン・アボットと名付けました。トゥールーズの司教でもあるデュランは、修道院の再建を始めました。1100年に、アンクティル(Anscutil)大修道院長はその柱と柱頭の彫刻がロマネスク美術の驚異の一つとして知られる回廊を建設しました。

12世紀初めには、百人の修道僧が修道院に住んでいます。彼らの主な活動は、彼らの一日を区切る8つの聖務日課を通しての祈りです。聖ベネディクトの規則で規定されているように、彼らはまた手作業を行わなければなりません。このように僧侶たちは宗教的な文章を写します。聖書、教会の神父や医師の文章だけでなく世俗の文章の抜粋や解説もです。1678年にルイ14世の大臣のコレバールが購入した後、これらの写本のうち約120点がフランス国立図書館に保管されています。

修道院教会の記念碑的な扉口は、回廊のすぐ後に彫刻されたものです。そのタンパンの図像は聖ヨハネの黙示録の幻覚の1つに触発されて、キリストの栄光の地上への復活の瞬間を表しています。

教会は何度か再建されました。下部石部分は12世紀の建物、さらに高く積み上げたゴシック様式のレンガ部は15世紀の建物に対応します。1626年、修道院は国有化されました。ベネディクト会の修道僧たちは、教会参事会員、もはや回廊に住んでいない教会の世俗的な修道士になったのです。ドモワサク・サンピエール教会での宗教生活はフランス革命で終わりになりました。1790年に、建物は国有財産として売却されます。

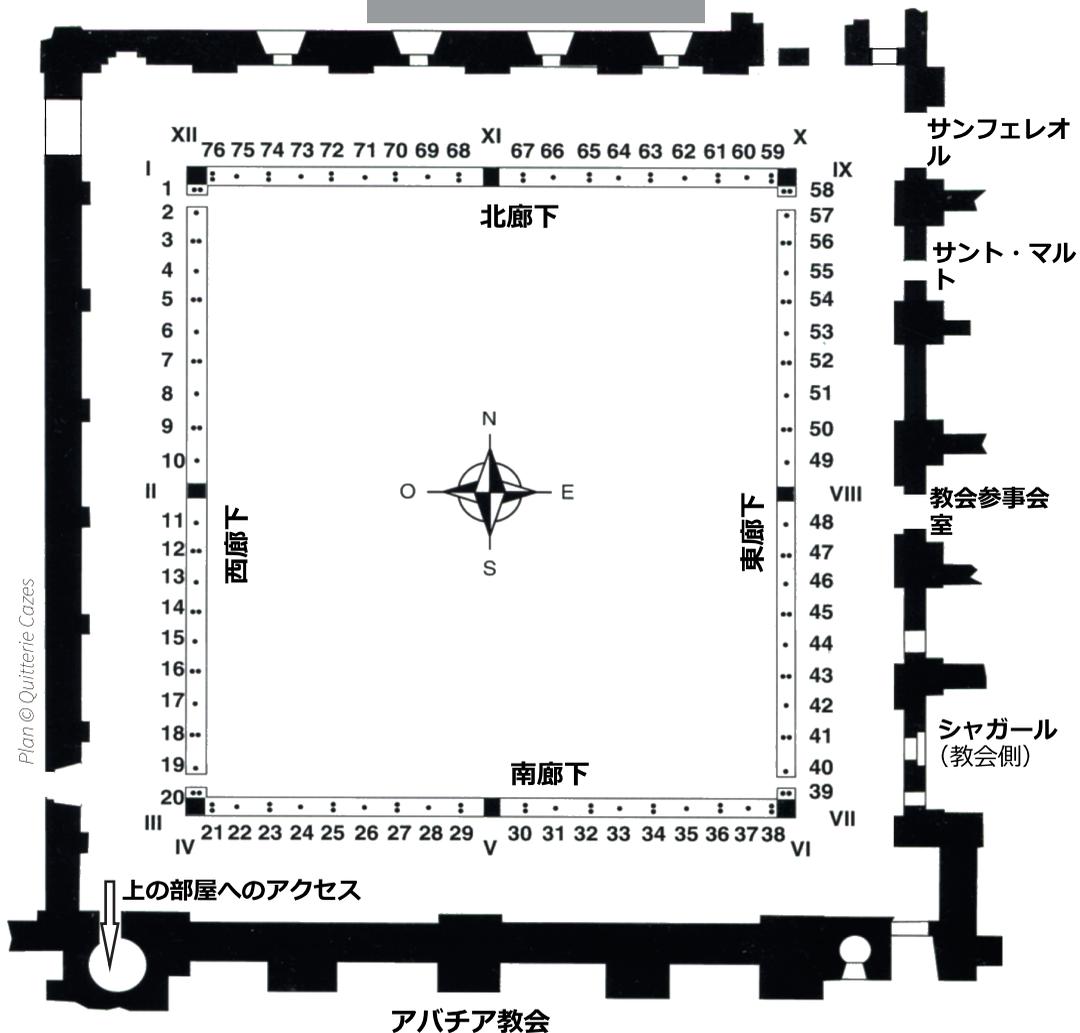
19世紀の修道院への新たな関心は、その回廊や教会が歴史的建造物のリスト上の最前列の順位であったことで示されます。しかしながら、同時に、ポルドー・セテ鉄道の建設は中世の修道院食堂の破壊を招きます。

1998年に、ユネスコは世界遺産リストにモワサクが舞台となっているコンポステーラの巡礼路を登録しました。

回廊

回廊を飾っている76の柱頭のうち、それらの半分以上は「歴史的」とであると言われていいます。なぜならそれらの装飾は聖書のエピソードや聖者の生活について説明しているからです。「装飾的」と呼ばれる他のものについては創造を呼び起こします。西廊下では、中央の柱の大理石板はロマネスク様式の回廊が1100年に完成したことを示しています。最後の4行の文の意味は謎のままです。

回廊図面



西廊下

柱 I - 聖フィリポ

1. アブラハムの犠牲
2. 十字架の賛美
3. アカンサスの葉
4. 向かい合う鳥
5. ライオンの巣窟の中のダニエルと羊飼いの告知
6. アカンサスの葉
7. 怪物像
8. ラザロの復活
9. ヤシの枝葉
10. 素晴らしい人物

柱 II - アンクティルの柱

11. 預言者サミュエルによるダビデの聖別式
12. 植物の装飾
13. 鳥と野獣
14. アカンサスの葉
15. 至福
16. 向かい合うライオンと人間の姿
17. アベルとカインの物語
18. 覆う植物の装飾
19. アレクサンドロの昇天
20. ダビデとゴリアテ

柱 III - 聖バルトロマイ

南ギャラリー

柱 IV - 聖マタイ

21. ヘロデの饗宴と洗礼者ヨハネの斬首
22. 木の中の鳥
23. バビロン市
24. 向かい合う鳥
25. ネブカドネザルの夢
26. 聖エチエンヌの殉教
27. アカンサスの葉
28. ダビデと聖なる音楽家
29. エルサレム市

柱 V - ピンク大理石の柱

30. 奈落の底
31. 伝道者の象徴
32. カナン人と百人隊長
33. 良いサマリヤ人
34. キリストの誘惑
35. パトモスの聖ヨハネの幻覚
36. 変容
37. 聖ペテロの投獄と解放
38. キリストの洗礼

柱 VI - 聖パウロ

東廊下

柱 VII - 聖ペトロ

39. サムソンとライオン
40. 聖パウロと聖ペトロの殉教
41. 植物の装飾
42. 原罪
43. アカンサスの葉
44. 聖ローランの殉教
45. 洗足
46. ヤシの枝葉

柱 VIII - デュラン・ド・ブレドン

47. ラザロと悪しき金持ち
48. 頭をつかむドラゴン
49. ワシの首をつかむ人物
50. カナの結婚式
51. 松かさと植物の装飾
52. 東方の三博士の礼拝と罪のない人々の虐殺
53. 葉飾りと獣の鼻面装飾
54. アカンサスの葉

55. 聖サチュルナンの殉教

56. アカンサスの葉

57. 聖フルクトゥ、聖アウグレ、そして聖ユーロゲの殉教

58. 受胎告知と訪問

柱 IX - 聖ヤコブ

北廊下

柱 X - 聖ヨハネ

59. ドラゴンを打ち倒す天使
60. ワシ
61. 植物の装飾
62. 聖ブノアの2つの奇跡
63. 向かい合う幻想的な鳥
64. 聖ペトロによる麻痺者の治癒
65. 植物の装飾
66. 天の法廷
67. 奇跡の漁

柱 XI - 波紋と鱗

68. ライオンの洞窟の中のダニエルと預言者ハバクク
69. エルサレムの十字軍?
70. 植物の装飾
71. 伝道者の象徴
72. 向かい合う鳥
73. 炉の中の3人の若いヘブライ人
74. 聖マルタンの物語
75. 覆う植物の装飾
76. イエスとサマリヤ人

柱 XII - 聖アンデレ



回廊の柱頭 ©Dominique Viet